



バレエシヤンプルウエスト

シヤンプルはフランス語で部屋、ウエストは西を意味
 します。東京の西、八王子にあるバレエ団シヤンプル
 ウエストは、1989(平成元)年 今村博明、川口ゆり子に
 より設立されました。
 バレエシヤンプルウエストは、設立以来たくさんの古典
 バレエを上演するとともに、ロシアやエストニアでの
 海外公演も行うなど、幅広い活動が認められ、2回の
 文化庁芸術祭大賞と優秀賞を受賞しました。
 また、毎年夏には山梨県の清里高原萌木の村で日本
 唯一の本格的な野外劇場で上演されている「清里フ
 ィールドバレエ」公演も行っているとともに、2011年
 東日本大震災復興の巡回公演を行い、ボランティア
 活動にも尽力しています。

本公演実施日		実施予定校	実施校以外の地元主催者
【日付】	【曜日】		
2019年10月29日	火	にかほ市立平沢小学校	秋田県教育委員会
2019年10月30日	水	横手市立大森小学校	秋田県教育委員会
2019年10月31日	木	横手市立横手明峰中学校	秋田県教育委員会
2019年11月1日	金	角田市立西根小学校	宮城県教育委員会/角田市教育委員会
2019年11月5日	火	塩竈市立第二中学校	宮城県教育委員会/塩竈市教育委員会
2019年11月6日	水	仙台市立川前小学校	仙台市教育委員会
2019年11月7日	木	仙台市立住吉台中学校	仙台市教育委員会
2019年11月8日	金	利府町立青山小学校	宮城県教育委員会/利府町教育委員会

知っていますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、
 世界の人びとが音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
 日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



スタッフ

総監督／今村博明
 芸術監督／川口ゆり子
 バレエミストレス／佐藤想美
 東松由香里
 平川有希
 衣裳デザイン／大井昌子
 舞台監督／伴美代子
 音響／海老沼良太
 照明／古賀裕一郎
 大道具／ユニ・ワークショップ
 美術／安藤基彦
 制作：(株)B.バレエシヤンプルウエスト

れいわがんねんど ぶんかげいじゅつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
 令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業 一巡回公演事業一

バレエシヤンプルウエスト



第1部 実演と解説「バレエへのお誘い」
 第2部 公演「くるみ割り人形」



「文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演事業一」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞
 する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や
 国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
 事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供
 たちにも参加してもらいます。



第1部 バレエへのお誘い

はじめに

喜劇、悲劇、愛、ユーモア、喜び・・・ バレエは多くのものを与えてくれます。芸術としてのバレエは、15世紀～16世紀のヨーロッパで仮面劇として、宮廷の贅沢な娯楽から生まれ、各世代で発展してきました。バレエは自分の体を素材にして作り上げる舞台芸術です。動きを通して心と目に直接語りかけます。さあ、みなさんも一緒にバレエの世界を体験してみましょう。

バレエはどうやって作られるの？

バレエは様々な職業の人が関わって、ひとつの作品を作りあげる総合芸術です。



舞台でおどる

ダンサー



おどりを考える

振付家



音楽を作る

音楽家



衣装を考える

デザイナー



舞台美術（セットや背景）

を考える美術家



舞台照明 を考える

照明家

キャスト

金平糖の女王／吉本真由美・松村里沙

山田美友・伊藤可南

チャーム王子／吉本泰久・江本 拓・土方一生

雪の女王／松村里沙・山田美友

石川伶奈・伊藤可南

クララ／川口まり・窪田希菜

ドロツセルマイヤー／今村博明

ねずみの王様／染谷野委

演出・振付／今村博明・川口ゆり子

音楽／チャイコフスキー

第2部 バレエシヤンブルウエスト公演「くるみ割り人形」

あらすじ

◆第1幕

今日はクリスマスイヴ。ドイツのとある街に住むスーラルバウム家では毎年クリスマスパーティーが開かれ賑やかなダンスを大人も子供も楽しんでます。ドロツセルマイヤーは子供たちにプレゼントを渡すと、最後に「くるみ割り人形」を取り出します。クララは、不格好な「くるみ割り人形」になぜかとても心惹かれます。

夜がふけ、クララは「くるみ割り人形」を探しに階下へ降りて行きます。するとどこからともなくねずみの王様が率いる軍隊と、それに対抗するおもちゃの兵隊たちが現われ、戦争を始めます。「くるみ割り人形」はねずみの大群からクララを守ってくれます。ねずみの王様が「くるみ割り人形」に襲いかかった瞬間、クララはスリッパを投げてねずみの王様の気をそらして助けます。

こうして「くるみ割り人形」はねずみ軍に勝つことができましたが、戦に疲れきって倒れ込んでしまいました。その姿を見て悲しむクララの前にどこからかドロツセルマイヤーが現れ、「くるみ割り人形」に魔法をかけます。すると「くるみ割り人形」はすてきな王子様に変身するのです。王子様は助けてくれたお礼にクララを魔法の旅へと誘います。

二人は白く美しい雪の国へ行き、雪の精に会いました。



◆第2幕

天使たちが二人を迎えてお菓子の国へとみちびいてくれました。お菓子の国の人々もケーキやキャンディーでもてなし、得意な踊りを次々と披露してくれます。金平糖の女王も王子様と一緒にクララのためにすてきなグラン・パ・ド・ドウを踊ります。目をみはるほど美しいはなやかな光景が広がります。

ふと気がつくと、そこはお菓子の国でも雪の国でもなく、家のソファです。クララは夢をみていたのです。ドロツセルマイヤーがくれた「くるみ割り人形」と一緒にクリスマスイヴにみたクララの夢……。心優しいクララのすてきな夢物語です。

